

平成28年度

# 事業報告書

平成28年 4月 1日から  
平成29年 3月31日まで

公益財団法人米沢上杉文化振興財団

# 目 次

(平成28年度事業報告書)

## I. 公益目的事業

- |                      |     |        |
|----------------------|-----|--------|
| (1) 展示事業             | ・・・ | 1 ページ  |
| (2) 教育普及事業           | ・・・ | 8 ページ  |
| (3) 資料収集・調査・整理・保管事業  | ・・・ | 14 ページ |
| (4) 芸術文化活動の支援・鑑賞事業   | ・・・ | 16 ページ |
| (5) 芸術文化活動のための施設貸与事業 | ・・・ | 21 ページ |
| (6) サポーター運営事業        | ・・・ | 21 ページ |

## II. 収益等事業 1

- |              |     |        |
|--------------|-----|--------|
| ミュージアムショップ事業 | ・・・ | 22 ページ |
|--------------|-----|--------|

## III. 収益等事業 2

- |        |     |        |
|--------|-----|--------|
| 施設貸与事業 | ・・・ | 22 ページ |
|--------|-----|--------|

## IV. 収益等事業 3

- |              |     |        |
|--------------|-----|--------|
| 伝国の杜ファンクラブ事業 | ・・・ | 23 ページ |
|--------------|-----|--------|

## V. 管理部門

- |      |     |        |
|------|-----|--------|
| 管理部門 | ・・・ | 23 ページ |
|------|-----|--------|

I 公益目的事業  
地域における歴史・芸術文化の振興を図るための事業

**1 展示事業**

(1) 米沢市上杉博物館展示事業

①企画展示

米沢市上杉博物館企画展示室において年間6本の企画展を開催した。また、利用者が展覧会の理解をより深められるよう講演会、ギャラリートークを適宜実施した。平成29年度以降開催予定の企画展の準備も進めた。

i) 開館15周年記念特別展「米沢中納言 上杉景勝」

会 期：平成28年 4月16日(土)～ 6月19日(日)

開催日数：59日間

入場者数：16,924名

米沢藩初代藩主上杉景勝の業績について、主に中央政権との関係を軸として紹介した。謙信の養子時代、織田政権、豊臣政権、江戸幕府の四つの時代に章分けした構成とし、これらの時代の近年の研究の深化をふまえその中に景勝の動向を積極的に位置付けることを試み、景勝が天下統一の中で軽視できない存在であったことを示した。

ii) 開館15周年記念企画展「生誕120年 椿貞雄展－椿貞雄と岸田劉生－」

会 期：平成28年 6月25日(土)～ 8月21日(日)

開館日数：54日間

入場者数：5,175名

米沢市出身の洋画家 椿貞雄の生誕120年の記念展として開催した。椿の生涯の師であり同志であった岸田劉生との関わりや、彼らに大きな影響を与えた白樺との関係、制作活動や日常生活の記録を約200点の作品と関連付けて展示し、椿にとっての劉生の存在意義や二人が追いつけた「日本人の油絵」を椿が成就していく過程をたどった。

iii) 開館15周年記念企画展「時間旅行展 TIME! TIME! TIME!」

会 期：平成28年 8月29日(月)～ 9月24日(土)

開催日数：27日間

入場者数：4,651名

企画 制作：日本科学未来館

日本科学未来館が企画し、国内外で実績のある体験型展覧会を開催した。「時間」という科学的なテーマを、メディアアートなどを駆使した展示物を通して体験しながら感じ、学び、考える内容であった。当館としては初めて取り組むジャンルの展示であり、スタッフの配置など運営上の課題もありながら、普段博物館に足を運ばない客層の誘客につながった。

iv) 開館15周年記念特別展「伊達氏と上杉氏—館山城跡国史跡指定記念—」

会 期：平成28年10月 1日（土）～11月27日（日）

開催日数：53日間

入場者数：14,046名

伊達氏をメインにする展示は30年ぶりであり、館山城跡の国史跡指定の年に開催できたことで来館者の関心が非常に高く、気運も高まり広報効果もあった。また、意外と知られていない伊達氏と上杉氏、米沢との関わりを示す機会となった。多様な形態や講師のギャラリートーク、講演会等も好評で集客につながった。

v) 開館15周年記念コレクション展「上杉鷹山と学びの時代」

会 期：平成28年12月10日（土）～平成29年 2月12日（日）

開催日数：52日間

入場者数：4,610名

米沢藩第9代藩主上杉鷹山の事績について、「学び」をキーワードに紹介した。鷹山自身の学びに加え、藩政改革における藩士や領民による学びの要素を取り上げるとともに、平成28年7月に新しく開館した市立米沢図書館（市民ギャラリーとの複合施設、愛称「ナセBA」）との連携展示や、関連図書の情報提供などにも努めた。

vi) 開館15周年記念コレクション展「大正期の米沢の美術」

会 期：平成29年 2月18日（土）～ 3月26日（日）

開催日数：32日間

入場者数：3,263名

当館の近現代アートコレクションを継続して公開する展示。米沢の美術団体と中央画壇との関わりから大正、昭和につながる米沢の美術の流れを紹介した。また、展示の中に『チルドレンキュレーターズチョイス』のコーナーを設け、こども学芸員が選んだ作品を展示し、彼らの視点で見どころを紹介した。

vii) 次年度以降の展覧会の準備に関すること

平成29年度以降の展覧会に備え、下記の準備を行った。

- ・戦国時代展の資料調査、資料解説と関連論考の執筆、展示開催と図録編集等の打合せ
- ・遠藤桑珠展準備のための聞き取り等
- ・ドールズハウス展作品借用の打合せ
- ・上杉家伝来刀剣および関連資料の調査
- ・幕末の米沢展準備のための資料調査

②常設展示

米沢市上杉博物館常設展示室の運営を適切に行った。

同展示室内の上杉文華館では「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマに、国宝「上杉家文書」を中心とした資料から越後守護代長尾氏の歴史を12の小テーマで紹介した。

国宝「上杉本洛中洛外図屏風」は、春（ 4月16日（土）～5月15日（日） ）と、秋（ 10月1日（土）～10月14日（金） ）に原本を展示した。

また、春には新たに山形県指定文化財となった「紙本著色徒然草図 六曲屏風」を4月16日（土）～5月15日（日）に展示した。さらに秋には、上杉家伝来の仏画を10月1日（土）～10月30日（日）の期間で展示した。

入場者数：61,905人

#### ◇上杉文華館スケジュール

i)	3月29日（火）	～	4月26日（火）	「長尾氏、越後へ」
ii)	4月27日（水）	～	5月24日（火）	「越後支配の要諦」
iii)	5月26日（木）	～	6月21日（火）	「室町幕府の期待」
iv)	6月23日（木）	～	7月26日（火）	「越後と関東」
v)	7月28日（木）	～	8月23日（火）	「巻き返す守護」
vi)	8月25日（木）	～	9月27日（火）	「守護支配の深化」
vii)	9月29日（木）	～	10月25日（火）	「守護の窓口～長尾能景1」
viii)	10月27日（木）	～	11月23日（水祝）	「紛争の調停～長尾能景2」
ix)	11月25日（金）	～	12月22日（木）	「新政策とのジレンマ～長尾能景3」
x)	12月23日（金祝）	～	1月29日（日）	「古志長尾氏」
xi)	1月31日（火）	～	2月26日（日）	「上杉定実と為景」
xii)	2月28日（火）	～	3月26日（日）	「為景の権勢」

## （2）市立米沢図書館展示事業

郷土の先人たちを称える先人顕彰コーナーにおいて年間6本の展示を開催した。郷土資料コーナーでは古典籍や古文書等収蔵資料をもとにした展示を行った。また、利用者の理解に資するため、講演会や講座を実施した。

### ①先人顕彰コーナー

#### i) 「伊東忠太展」

会 期：平成28年 7月 1日（金）～ 8月24日（水）

開催日数：55日間

先人顕彰コーナー第1回目として、建築学者で米沢市名誉市民第1号である伊東忠太を紹介した。山形県立図書館の「縣人文庫」や米沢市上杉博物館の資料を借用し、忠太の家族宛の手紙や絵ハガキ、論文草稿、自筆の水彩画、名誉市民の推挙状、大礼服等を展示。生い立ちから建築家や風刺画家としての活躍、オスマン帝国の旅、有為会の創設など、幅広い忠太の業績をたどった。またパンフレット（8ページ）を作成し、関係者に配布した。

#### ii) 「城下絵図展 I」

会 期：平成28年 8月26日（金）～ 9月21日（水）

開催日数：27日間

所蔵する江戸時代の米沢城下絵図2点をメインに展示した。寛文4年(1664)頃の城下絵図は、米沢藩第3代藩主上杉綱勝の側近であった福王寺八弥の大きな屋敷が描かれる。安永8年(1779)頃の城下絵図は、七家騒動で失脚した家臣の屋敷地が「揚屋敷」と記され、学館(興讓館)が描かれるなど、上杉鷹山の藩政改革期の状況を示した城下絵図である。その他、頒布している複製絵図も紹介した。

iii) 「米沢が生んだ作曲家 大沼<sup>きとろ</sup>哲展」

会 期：平成28年 9月24日(土)～11月23日(水祝)

開催日数：60日間

米沢出身の作曲家 大沼哲の功績を紹介した。大沼家から寄贈された資料を中心に展示を構成し、主に大沼がパリ・スコラカントルムへ作曲学や指揮法を学びに留学した際の書簡、軍楽部における後輩への指導の様子が窺える資料、楽譜類を取り上げ、陸軍軍楽部という場所で活躍した大沼の知られざる業績を示した。

iv) 「木彫展Ⅰ－桜井祐一展」

会 期：平成28年11月25日(金)～平成29年 1月25日(水)

開催日数：54日間

米沢出身の彫刻家 桜井祐一を取り上げ、米沢市上杉博物館所蔵の作品から「バンヂョウを弾く男」、「乞う人」、「壺」、「特務兵」、「未詳(荷車)」、「北条時宗」、「千利休」、「良寛」、「寒山拾得」を展示した。また、スケッチブック(デッサン)5点を展示し、その制作過程も紹介した。

v) 「図書館の絵図展2 初公開の米沢城下絵図」

会 期：平成29年 1月27日(金)～ 2月22日(水)

開催日数：24日間

所蔵する江戸時代の米沢城下絵図2点を初公開した。享保12年(1727)頃の米沢城下絵図は余白部分に東原、南原といった原方の屋敷割も描かれる珍しいものである。享保5年(1720)の米沢城下屋敷割絵図は、豊秀なる人物が筆写した個人作成の絵図である。

vi) 「木彫展Ⅱ－鈴木実展」

会 期：平成29年 2月24日(金)～ 4月26日(水)

開催日数：59日間

高島出身の彫刻家 鈴木実を取り上げ、米沢市上杉博物館所蔵の作品から「野分(芭蕉について)」、「夢は枯野をかけめぐる(芭蕉について)」、「牛(臥牛)」、「上杉謙信坐像」、「上杉鷹山坐像」、「私自身の肖像」を展示した。

## ②郷土資料コーナー

### i) 「かてもの」

会 期：平成28年 7月 1日（金）～ 8月28日（日）

開催日数：60日間

享和2年（1802）に米沢藩が飢饉に備え印刷、配布した救荒書「かてもの」を展示、紹介した。また、木版印刷した1,575冊の配布先や、制作のための費用に関することなども紹介した。

### ii) 「米沢の砲術資料1」

会 期：平成28年 9月 1日（土）～10月31日（月）

開催日数：64日間

火縄銃の命中率はどのくらいだったのか、玉はどのくらいまで飛んだのか、その疑問に答えるため、所蔵する3点の「立之次第」（訓練記録）を展示、紹介した。

### iii) 「先祖由緒帳」

会 期：平成28年11月 5日（土）～12月25日（日）

開催日数：51日間

延宝5年（1677）に編集された米沢藩の中級家臣団である三手組（御馬廻、五十騎、与板）の先祖由緒を記した「先祖由緒帳」（地域史料）を展示し、この資料を利用した論文と書籍も紹介した。

### iv) 「嚶鳴館遺稿」

会 期：平成28年12月10日（土）～平成29年 2月12日（日）

開催日数：58日間

米沢市上杉博物館のコレクション展『上杉鷹山と学びの時代』に合わせ、上杉鷹山の師である儒学者 細井平洲の遺稿集「嚶鳴館遺稿」を展示し、鷹山の執筆した序文を紹介した。

### v) 「壺前勸進詩歌」

会 期：平成29年 2月13日（月）～ 2月28日（火）

開催日数：16日間

会期の時候に合わせ、米沢藩士の家中で祀っていた北野天満、その祭礼日（菅原道真の命日2月25日）に奉納した詩歌、俳句を集めた巻子を展示した。

### vi) 「飯糧集」

会 期：平成29年 3月 1日（水）～ 4月30日（日）

開催日数：59日間

天明の飢饉の際に領民がむやみに山野草を食べ死亡する状況に対応し、天明3年（1783）11月、米沢藩の医師たちが急ぎ編集し提出した救荒書「飯糧集」（林泉文庫）を展示紹介した。

### ③郷土資料特集コーナー

先人顕彰コーナーの展示にあわせ、「伊東忠太」、「大沼哲」、「桜井祐一」に関する書籍を集めた。また、米沢市上杉博物館の展示と連携して、「椿貞雄展」、「伊達氏と上杉氏」、「上杉鷹山と学びの時代」、「大正期の米沢の美術」の関連書籍を紹介すると共にパスファインダーを作成、配布した。その他、「置賜の写真帳」、「輝くわがまち創造事業」といったコーナーを設けた。

### (3) よねざわ市民ギャラリー展示事業

市内の芸術文化団体や米沢市上杉博物館と連携し、スライディングウォールの移動やオープンギャラリーの活用などギャラリーの機能を活かしながら展示を行った。

#### ①よねざわ市民ギャラリー自主・共催事業

##### i) 「よねざわアート NOW～イの一番展～」

会 期：前期 平成28年 7月 1日（金）～ 7月14日（木）

後期 平成28年 7月16日（土）～ 7月31日（日）

開催日数：前期 14日間、後期 16日間

入場者数：前後期合計 9,661名

よねざわ市民ギャラリーの開館記念展の第1弾として開催した。公募部門では現在米沢で活躍する作家たちの作品をジャンルごとに展示し、招待作家部門として国内外で活躍している作家や推薦作家の作品を展示した。また、物故作家部門として、上杉博物館所蔵の米沢出身作家やゆかりのある作家の作品を展示し、過去・現在・未来の米沢のアートを担う作家たちの作品を紹介した。

##### ii) 「米沢の美術作家たち～昭和を生きぬいた11人～」

会 期：平成28年 8月 4日（木）～ 8月21日（日）

開催日数：18日間

入場者数：2,637名

米沢が輩出してきたあまたの美術作家の中から、洋画家の椿貞雄、土田文雄、浜田浜雄、黒澤梧郎、後藤克芳、日本画家の本間国生、我妻碧宇、遠藤桑珠、福王寺法林、彫刻家の桜井祐一・鈴木実の作品を取り上げ、米沢市上杉博物館の所蔵作品を中心に、米沢信用金庫の所蔵作品を含め、開館記念事業の第2弾として開催した。

##### iii) ARTS MEET OKITAMA 2017

共 催：置賜文化フォーラム、米沢市芸術文化協会

会 期：平成29年 3月18日（土）～ 3月26日（日）

開催日数：9日間

参加者数：2,494名

置賜地域で活動をしている美術作家、もしくは作家を志している方の作品を広く募集し、世代間交流・地域間交流を図る展覧会を開催した。展覧会には販売可能な作品を含む91名262点の作品が出品され、展示室、ギャラリー、ショップともに大勢の観客でにぎわった。



## ②オープングャラリー展示事業

会 期：	i) 平成28年 7月 1日 (金) ～	9月26日 (月)
	ii) 平成28年 9月28日 (水) ～	12月21日 (水)
	iii) 平成28年12月23日 (金) ～	平成29年 3月22日 (水)
	iv) 平成29年 3月23日 (木) ～	6月28日 (水)

ナセBA1階の通路部分を「オープングャラリー」とし、米沢市上杉博物館所蔵の椿貞雄、土田文雄、黒澤梧郎、浜田浜雄、後藤克芳の洋画、我妻碧宇、本間国夫、福王寺法林、遠藤桑珠の日本画、桜井祐一の彫刻作品から計10点程度を、3か月ごとに展示替えをしながら公開した。

## (4) 米沢市座の文化伝承館自主事業

### 河童洞コレクション「たのしき郷土玩具の世界Ⅲ」

会 期：平成28年10月19日 (水) ～10月31日 (月)

<休館日：10月25日 (火)>

開催日数：13日間

入館者数：226名

米沢市上杉博物館所蔵の「河童洞コレクション」の郷土玩具の中から、干支をはじめとする「動物」をテーマに資料を選定して展示した。木、藁、土、紙などの素材で作られた素朴で親しみやすい造形と、その形に込められた意味を感じていただいた。

## 2 教育普及事業

### (1) 教育事業

#### ①プレイショップ（米沢市上杉博物館体験学習室・常設） 年間利用者数：11,987名

日本の年中行事の紹介や月ごとの造形体験を充実させ、多くの方楽しんでいただいた。

配布資料の見易さへの配慮や、危険防止はもとより体験学習室全体の利用しやすい雰囲気づくりを常に心がけ、来館者の体験がより豊かになることを目指した。また、定期的な勉強会で、知識の定着、造形技術の向上を計り、カスタマーディライトを目指した。

#### ②ワークショップ（米沢市上杉博物館） 年間参加者数：250名

##### i) 募集制プログラム

夏休みの特別プログラム、大人向けの鑑賞プログラムなどに加えて、地元の作家を講師とした造形プログラム、企画展関連や洛中洛外図屏風の原本展示にあわせたプログラムも展開し、展示の内容に深みを加えることができた。

活動12年目を迎えたチルドレンキュレーターズ（こども学芸員）は、「学芸員のしごと一みせる—アートコレクション展「米沢の大正の美術」にチルクキュレチョイスを展示しよう！」をテーマに、作品選びから、調査、解説の執筆までを年間通して体験した。（年間11プログラム実施、参加者193名）

##### ii) 自由参加制プログラム

伝国の杜サポーター・米沢とんとむかしの会の協力による、「むかしむかしをきこう」を開催した。毎年好評のプログラムとして定着している。

（年間3プログラム実施、参加者57名）

#### ③自主事業（市立米沢図書館） 年間参加者数：3,200名程度

##### i) 子どもの読書活動を推進する事業

「米沢市子ども読書活動推進計画」に基づき、サポーターや外部ボランティア団体と連携しながら「おはなしかい」、「ブックスタート」、「アタゴオルによる絵本読み聞かせ」等の読み聞かせ活動を行った。また、市内小学校へ巡回しテーマ別の図書の貸出を行ったほか、「米沢市小中学生読書感想画展」を開催することで、子どもたちの読書意欲を高めるとともに、柔らかな感性と豊かな想像力を培ってもらうことを目指した。（読み聞かせ事業参加者900名程度、読書感想画展来場者数2,220名）

##### ii) ワークショップ

夏には「おばけのモビールをつくろう」をテーマに「2016図書館づくりの部屋」を企画し、親子で工作体験をしていただいた。秋には「2016読書週間図書館フェア」を開催し、雑誌の付録抽選会やリサイクル市等蔵書を活用したイベント、本のコーティング体験などを行った。（参加者381名）

##### iii) 多様な学びを提供する事業

収蔵する郷土資料を用いた講座や小学生を対象とした米沢の歴史講座を展開し、市民の学習活動の場としての図書館運営に努めた。（年間4事業実施、参加者486名）

#### ④講演会の開催

米沢市上杉博物館の4つの事業、市立米沢図書館の2つの事業で講演会を開催した。詳細は下記のとおり。

- i) 開館15周年記念特別展「米沢中納言 上杉景勝」  
平成28年 5月14日(土) 14:00~16:00  
「豊臣政権と上杉景勝」 矢部健太郎氏(國學院大學文学部教授)  
参加者数: 115名
- ii) 開館15周年記念企画展「生誕120年 椿貞雄展—椿貞雄と岸田劉生—」  
平成28年 7月 3日(日) 14:00~16:00  
「愛情の画家椿貞雄と岸田劉生」 加藤千明氏(山形美術館顧問)  
参加者数: 20名
- iii) 開館15周年記念特別展「伊達氏と上杉氏—館山城跡国史跡指定記念—」  
平成28年10月22日(土) 13:30~16:30  
『ここまでわかった!国史跡館山城跡 —その実像とこれからの活用にむけて—』  
(米沢市教育委員会主催)  
「館山城と山形の中世城館」  
佐藤鎮雄氏(山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館前館長)  
「文献史料からみえる館山城」  
伊藤清郎氏(山形大学名誉教授)  
「国史跡館山城跡の発掘調査成果について」  
佐藤公保氏(米沢市教育委員会教育管理部文化課主任)  
「国史跡館山城跡の整備活用にむけて」  
近江俊秀氏(文化庁文化財部記念物課文化財調査官)  
参加者数: 154名
- 平成28年11月19日(土) 14:00~16:00  
「米沢時代の伊達氏と上杉氏」 遠藤ゆり子氏(淑徳大学准教授)  
参加者数: 120名
- iv) 開館15周年記念コレクション展「上杉鷹山と学びの時代」  
平成28年12月17日(土) 14:00~16:00  
「上杉鷹山の改革と学び —『富国安民論』とはなにか—」  
小関悠一郎氏(千葉大学准教授)  
参加者数: 115名
- v) 市立米沢図書館開館記念事業  
平成28年 7月 1日(土) 14:00~17:00  
「おはなしかい」  
平成28年 7月 2日(土) 10:00~  
『図書館をサポートする』研修会 丸山 ちはや氏(芸術遊び虹色の部屋主宰)  
参加者数: 24名

- vi) 先人顕彰コーナー「伊東忠太」展  
平成28年 7月10日(日) 14:00~15:30  
「明治の建築家伊東忠太 オスマン帝国をゆく」  
ジラルデッリ青木美由紀氏(イスタンブール工科大学非常勤准教授補)  
参加者数:90名

⑤地域・学校との連携

- i) 年間計画、公開研等学校状況のリサーチ(米沢市上杉博物館)
- ii) ミュージアムスクール、出前授業、ワークショップ総合学習、  
社会科見学、美術科、社会科などでの連携授業の展開(米沢市上杉博物館)
  - ・施設利用・見学  
年間56件、4,219名 受入
  - ・ミュージアムスクール(学校側が来館し、学芸員が授業に参加したもの)  
年間1件、86名 受入
  - ・出前授業(博物館側が学校へ資料を持って出向くもの)  
年間4件、327名 受入
- iii) 学校への各事業周知の徹底、ホームページの充実
- iv) チャレンジウィーク・インターンシップの受け入れ  
米沢市上杉博物館:年間8校(米沢市内中学生、山形大学生)、16名 受入  
市立米沢図書館:年間3校(米沢市内中学生)、4名 受入
- v) 博物館実習の受け入れ(米沢市上杉博物館)  
2大学 4名 受入(期間:8月5日(金)~8月10日(水))
- vi) 自動車文庫アタゴオル号での市内公共施設等巡回(市立米沢図書館)  
月間 70箇所

⑥展示解説(米沢市上杉博物館)

- i) ギャラリートーク  
特別展・企画展・コレクション展にあわせたギャラリートークを年間15回開催した。内容は下記のとおり。
  - 【米沢中納言上杉景勝】主任学芸員 阿部 哲人  
平成28年 4月16日(土) 14:00      5月15日(日) 14:00  
                 5月21日(土) 14:00      6月19日(日) 14:00
  - 【生誕120年椿貞雄と岸田劉生】学芸主査 花田美穂  
平成28年 6月25日(土) 14:00 「日本人の油絵-椿と劉生の軌跡-」  
                 7月23日(土) 14:00 「椿日記と劉生日記」
  - 【時間旅行展】主任学芸員 遠藤友紀  
平成28年 9月 3日(土) 11:00 「時間ツアー」  
                 9月10日(土) 11:00 「時間ツアー」
  - 【伊達氏と上杉氏】学芸主査 角屋由美子  
平成28年10月 1日(土) 14:00 「中世伊達氏」  
                 10月 8日(土) 14:00 吉田歆氏(米沢女子短期大学教授)  
   「伊達郡から見た伊達氏」

- 11月 5日(土) 14:00 「伊達氏と家臣団―米沢時代―」  
 11月12日(土) 14:00 高橋充氏(福島県立博物館専門学芸員)  
 「米沢時代の政宗」

【上杉鷹山と学びの時代】主任学芸員 佐藤正三郎

- 平成28年12月10日(土) 14:00 「展覧会のみどころ」  
 平成29年 1月14日(土) 14:00 「上杉鷹山と読書」  
 2月 4日(土) 14:00 「学びと改革」

ii) コレクショントーク

「謙信を生んだ一族・長尾氏」を年間テーマとした上杉文華館の展示内容について、国宝上杉家文書をはじめ、古文書等の資料とともに紹介するコレクショントークを年間12回開催した。内容は下記のとおり。

- [1] 平成28年 4月 2日(土) 「長尾氏、越後へ」  
 [2] 平成28年 5月 7日(土) 「越後支配の要諦」  
 [3] 平成28年 5月28日(土) 「室町幕府の期待」  
 [4] 平成28年 7月 9日(土) 「越後と関東」  
 [5] 平成28年 7月30日(土) 「巻き返す守護」  
 [6] 平成28年 8月27日(土) 「守護支配の深化」  
 [7] 平成28年10月 1日(土) 「守護の窓口～長尾能景1」  
 [8] 平成28年10月29日(土) 「紛争の調停～長尾能景2」  
 [9] 平成28年11月26日(土) 「新政策とのジレンマ～長尾能景3」  
 [10] 平成29年 1月 7日(土) 「古志長尾氏」  
 [11] 平成29年 1月28日(土) 「上杉定実と為景」  
 [12] 平成29年 3月 4日(土) 「為景の権勢」

※解説は主任学芸員 阿部哲人。第8回のみ15:00からの開催、他回はいずれも14:00から開催。

⑦情報ライブラリーの展開と更新(米沢市上杉博物館)

企画展に関する書籍のコーナーを設置し、蔵書の充実とともに書籍の配架の工夫など、閲覧者の利便性に配慮した。また蔵書の点検と整理作業を行い、図書整理サポーターと協働しながら書庫の整備に努めた。各種レファレンスに回答し来館者サービスを推進した。

新規映像ソフト「伊達氏の系譜と置賜進出」を製作し、情報検索装置「おきたま玉手箱」に配備した。

⑧特別利用・資料貸与・掲載利用

管理条例に基づき、迅速かつ正確に申請の收受、許諾業務を行った。

i) 米沢市上杉博物館

特別利用の受付と対応	27	件
資料貸出の受付と対応	34	件
寄託資料の一時持出し対応	2	件
市保有近現代美術作品入替作業の出納立合い	2	回
ナセBAオープンギャラリーへの作品の貸出	年間	41
		点

よねざわ市民ギャラリー自主事業への作品貸与	67	点
市立米沢図書館郷土資料自主事業への作品貸与	26	点
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理（資料管理と連動）	397	件
ii) 市立米沢図書館		
図書的一般貸出	361, 331	冊
自動車文庫アタゴオル号での図書貸出	30, 645	冊
他館との相互貸借における貸出冊数	233	冊
他館との相互貸借における借受冊数	307	冊
古文書・古典籍の閲覧	60 件	1, 208 点
古文書・古典籍の撮影	28 件	427 点
古文書・古典籍の貸出	26 件	51 点
その他特別貸出（禁帯本等）	11 件	14 点
館蔵資料の掲載および写真貸与許可等の処理	24	件

### ⑨レファレンス

各種レファレンスに回答し、来館者サービスを推進した。

#### i) 米沢市上杉博物館

各種レファレンスの対応	調査を要するもの	69 件
	来館者・電話によるもの	多数

#### ii) 市立米沢図書館

一般レファレンス	カウンター対応	多数
郷土資料レファレンス	調査を要するもの	123 件
	来館者や電話によるもの	多数

### ⑩市民茶会の開催

日本の伝統文化のひとつである茶道に気軽に親しむことのできる機会として、米沢市茶道連合会の協力を得て第26回市民茶会を開催した。

開催日：平成28年 6月21日（日） 10：30～15：00

参加者数：245名

米沢市座の文化伝承館と茶室「静山庵」を公開し、茶道を体験してもらう目的で市民茶会を開催した。米沢茶道連合会会員が茶庭や床飾り、菓子などを紹介し、客とともに季節を愛でるため心をつくすという茶席の趣など伝統文化に触れた。

## (2) 普及事業

### ①出版

施設の事業活動に関する書籍・冊子を発行し、協力者や市民に対するPR活動を行った。

#### i) 展覧会図録の刊行

特別展図録『米沢中納言 上杉景勝』	(1, 000冊)
企画展図録『生誕120年 椿貞雄展－椿貞雄と岸田劉生－』	(600冊)
特別展図録『伊達氏と上杉氏－館山城跡国史跡指定記念－』	(1, 010冊)

#### ii) 平成27年度米沢市上杉博物館年報の発行（500冊）

iii) 「伝国の杜だより」の発行

第30号(5,000冊)、第31号(5,300冊)

iv) 「図書館だより」の発行

第1号(1,000部)、第2号(1,000部)

v) 教育普及だよりミュゼデュウ 春・夏・秋・冬号の発行(各17,000枚)

## ②事業告知活動

広告予算を使った有料媒体のほか、費用のかからない無料媒体を活用し、当財団事業および施設に関するPR活動を行い、入館者増に努めた。

- ・有料、無料の広告媒体を使ってのPR活動を行った。
- ・ホームページ等WEB媒体を使ってのPR活動および収蔵品の紹介を行った。
- ・チラシ、ポスター等の媒体を使ってのPR活動を行った。
- ・近隣施設等への直接持参によるPR活動を行った。

## ③評価の実施と分析

各事業について内部評価を実施し事業総括に反映させた。

伝国の杜運営協議会委員による外部評価及び来館者アンケートを実施した。

## ④スタッフの育成

定期的に勉強会・講習会を実施し、事業運営における職員のスキルアップを図った。また、来館者対応については、防災訓練や展覧会ごとの展示説明会を実施したほか、心肺蘇生法およびAED使用法に関する救急処置実施講習会に参加し資質の向上に努めた。また、分野ごとの業務の遂行に関する指導等を行った。

- ・定期的な勉強会や研修会の実施
- ・新規採用者の研修

## ⑤収蔵資料の貸出(米沢市上杉博物館)

博物館以外の場所で市民が実物資料に触れる心豊かな文化体験の機会をつくるため、博物館収蔵の美術作品を市内の学校・公共施設に貸し出した。

年間 14件 20点

### 3 資料収集・調査・整理・保管業務

#### (1) 資料調査事業

##### ①歴史関連資料（米沢市上杉博物館）

上杉氏および米沢藩関連資料の調査、資料収集に伴う調査を行った。

##### ②美術関連資料（米沢市上杉博物館）

置賜ゆかりの作家についての継続的な調査、資料収集に伴う調査を行った。

##### ③郷土資料（市立米沢図書館）

南原地区の神社、堂宮の調査を行い、報告書を作成した。

#### (2) 図書・資料の収集事業

米沢市の資料収集基本方針に基づき、収蔵資料の充実をはかるために図書・資料・作品の収集活動を行った。

##### ①米沢市上杉博物館

新規受入資料数 : 45件（約670点）

新規受入図書資料数 : 1,376冊

資料収集検討会議 : 平成29年 2月 8日（水）

資料収集委員会 : 開催せず

##### ②市立米沢図書館

新規購入図書数 : 8,066冊

寄贈受入冊数 : 772冊

選書会議 : 毎月休館日に開催

#### (3) 図書・資料の整理保管事業

##### ①資料管理データベースに関する作業

「米沢市上杉博物館・市立米沢図書館収蔵文化財総合データベース」を7月から正式公開し、その後も機能の改善、公開資料の充実や資料情報の訂正、充実につとめた。新規受入資料の登録、画像データベースとのリンク構築などを継続して行った。資料のラベリングや登録の確認、追加を行った。登録済み資料の画像リンクやラベルプリントなど資料と直結した管理を強化した。また、管理データベース全体の不具合部分の調整も行った。

##### i) 米沢市上杉博物館

・中条家文書（米沢藩医）438点の目録をデータ化し、資料管理データベースに登録した。

##### ii) 市立米沢図書館

・4月1日に旧図書館のデジタルライブラリーを停止し、米沢市上杉博物館のサーバーに移管した。新図書館開館後も引き続き公開している。

・林泉文庫の資料617件の画像を追加公開した。



②収蔵資料の解説、整理（米沢市上杉博物館）

- ・収蔵刀剣、銃砲類の保管状況の改善と登録証情報の整理
- ・上杉文書 幕末部分約400点の細目録データ化
- ・椿貞雄展の開催に伴う二次資料の調査・整理

③収蔵資料の写真撮影（米沢市上杉博物館）

新規受入資料、平成28年度開催展覧会出品資料、公開データベース掲載資料の写真撮影を行った。

④上杉邦憲氏寄託資料整理（米沢市上杉博物館）

資料の整理および外箱のクリーニングを行った。

写真約200点の中性紙箱などへの入れ替えと管理改善を実施。

⑤収蔵資料の修理（米沢市上杉博物館）

歴史資料の修理等

- ・上杉鷹山書状、雲井龍雄書状、華岡青州像 各1幅  
桐箱を新調した。

美術資料の修理

- ・阿部誠「バスの中で」木彫 1980年（4点組作品）  
腐食と虫害で原型をとどめなくなっていたため、平成27年度から部分修復を開始しており、今年度は主要部分である男性木彫を修復した。木部の各所に虫害の燻蒸と殺菌、補修を施した。  
修復者：東北芸術工科大学（文化財保存修復研究センター 彫刻修復部門）
- ・目賀多家関連資料（新規寄贈資料） 5枚  
粉本の裏打ち、貼り継ぎの修理を行った。

⑥収蔵・展示区域の環境対策について（米沢市上杉博物館）

生物被害を未然に防ぐIPM（総合的有害生物管理）を年間通して取り組んだ。

- ・エリア区分による段階的管理
- ・粘着トラップの設置
- ・展示ケース内アートソープ入替え
- ・作品のクリーニング
- ・空気環境調査(12, 1月)
- ・一般、特別収蔵庫のクリーニング
- ・毎月の定期清掃
- ・害虫の防除
- ・定期的な温湿度測定
- ・新収蔵資料の燻蒸

⑦図書の除籍（市立米沢図書館）

亡失や汚破損等で不要となった図書について、条例・規程に基づき除籍した。

対象期間：平成26年 6月 2日～平成28年11月31日

除 籍：年間 3, 935冊

## 4 芸術文化活動の支援・鑑賞事業

### (1) 置賜文化ホール米沢市共催事業

米沢市から置賜文化ホール自主事業共催負担金を受け、以下の事業を実施した。

市民の芸術文化活動を支援し、また身近な文化施設として利用の促進につながるよう、博物館事業とも連携しながら公演を開催した。

#### ①山形交響楽団ユアタウンコンサート 米沢公演

公演日時：平成28年 4月23日（土） 16：00開演

入場者数：368名

クラシック・サクソフォンの第一人者である須川展也をソリストに招き、山形交響楽団のコンサートを行った。前日は、市内の中学校吹奏楽部への須川氏によるクリニックを開催。当日は開場前に能舞台上でのウェルカム演奏、公演終了後にエントランスでの交流会の開催とこれまで行われなかったイベントを行い、集客を目指した。来場者の満足度が高いコンサートを開催することができた。

#### ②Musical Songs Medley

公演日時：平成28年 6月25日（土） 17：30開演

入場者数：165名

当館初のミュージカルコンサート。能舞台前の特設ステージ、過去の主催事業に関わった作詞家、作編曲家、演奏家、ダンサーとともに、地元ミュージカル劇団「伝国座」の登用など、オリジナリティにこだわり制作した。来場者は、ガーシェウインからディズニー映画まで数々の名作を解説付きで鑑賞し、好評を得た。

#### ③東彩子ヴァイオリンコンサート～北の郷愁 南の旅情～

公演日時：平成28年 7月23日（土） 18：00開演

入場者数：132名

米沢市上杉博物館企画展「生誕120年 椿貞雄展」の開催に併せ、椿の孫でヴァイオリニストの東彩子によるリサイタルを開催。長年の共演者である藤井一興のピアノにあわせて、演奏とともに祖父椿貞雄との思い出にも触れるなど、展覧会とともに楽しめる企画となった。

#### ④うごく能舞台～空気浮上式移動作業の一般公開～

公演日時：平成28年 9月 8日（木） 17：00開演

入場者数：40名

空気浮上方式による能舞台移動作業を公開し、普段あまり目にする事のない施設の裏側についての学習会を開催した。施設の普及に活用していくため、能舞台が動く様子を4Kカメラで撮影した。

⑤おきたまの秋空に響け！吹奏楽の日コンサート2016

共 催：置賜地区吹奏楽連盟

公演日時：平成28年10月 2日（日） 10：00開演

入場者数：1,730名

小編成のアンサンブル立奏から、大編成や合同バンドによる座奏まで650名が出演し、内奏と庭奏それぞれの会場でサウンドを響かせた。毎年恒例のコンサートとして出演者の口コミによるPRを続けているが、共催団体と連携をとりながら、置賜地方の恒例コンサートとして広く周知できるよう効果的なPRを実施していく。

⑥カナディアン・ブラス

公演日時：平成28年11月15日（火） 18：30開演

参加者数：389名

40年にわたって世界で演奏活動を行っている金管アンサンブル カナディアン・ブラスを招き、開館15周年を記念するコンサートを開催した。前日は地元の吹奏楽団体への公開クリニックを開催し交流を深めた。当日は、技術の高いアンサンブルと見た人を楽しませるパフォーマンスで、お客様を感動させるコンサートとなった。

⑦市民ミュージカル育成事業

活動回数：平成28年 4月～平成29年 3月まで計12回

参加者数：37名

市民ミュージカル劇団「伝国座」のメンバーを自主事業「Musical Songs Medley」に登用することで活動の活性化に努め、また次回作のための人数強化を目的とした公開レッスンを開催した。

(2) 置賜文化ホール山形県補助事業

山形県から置賜文化ホール事業費補助金を受け、以下の事業を実施した。「文化の薫り高い置賜の創造」を掲げる置賜地域の中核文化施設として定着していくことを目指し、施設の機能強化を図りながら実施した。

◇地域文化力育成事業

地域住民の芸術文化活動支援のため、置賜在住および出身者への公演機会の提供とともにPR活動を行い、施設の賑わいと利用のきっかけづくりを行った。

①Jazz Café Live ～MIKA Trio with Shuichiro Ise～

公演日時：平成28年 5月26日（木） 19：00開演

入場者数：90名

仙台を中心に活躍するジャズシンガー MIKAと東京で活躍するジャズトランペッター 伊勢修一郎が中心の、高い実力を持つバンドの演奏を楽しんだ。電子ピアノではなくグランドピアノを会場に運び、よりレベルの高い音色が好評だった。

②第40回上杉雪灯籠まつりによせて

Jazz Café Live ～林宏樹 The Futureformers Group～

公演日時：平成29年 2月 9日（木） 19：00開演

入場者数：86名

雪灯籠まつり開催にあわせて、サクソフォン奏者の林宏樹をリーダーに、東北のジャズミュージシャンによるカフェライブを開催した。竹あかりで彩った会場で、ドリンク片手に創作曲「雪灯籠組曲」や雪に因んだ曲などに身体を揺らすひと時をすごした。

③親子でたのしむ音楽会

公演日時：平成29年 3月 6日（日） 14：00開演

入場者数：351名

新庄市出身のソプラノ・田中麻理を中心に、声楽グループ「クルトパイユ」のメンバーを招き、オリジナル音楽劇で高校生が共演。伝国の杜オーケストラの演奏では、子供だけを対象とするコンサートではなく、じっくり味わいたい大人向けには“オーケストラの人気曲”コーナーを、子供向けには参加型で楽しむ体験コーナーとを実施した。

◇能楽関係事業

施設の特長をいかし、藩政時代より現代に継承されてきた能楽の普及を図った。一方でこども狂言の育成に取り組み、地域に活動を紹介することでも能楽振興に貢献した。

①平成28年度山形県能楽の祭典

共 催：山形県能楽協会

公演日時：平成28年 9月11日（日） 9：30開演

入場者数：151名

山形県内の能楽愛好家の発表の場を設け、各団体の研鑽と交流の場となった。こども狂言クラブも出演し、団体全体の交流の輪は広がったが、集客にはつながらなかった。

②能楽囃子コンサート ～音から触れる能の世界～

公演日時：平成28年11月 1日（火） 18：00開演

入場者数：80名

プロの能楽囃子方を招き、お囃子の観点から能楽の世界を体感するコンサートを開催した。能楽愛好家を中心に集客を目指したが、関係者以外への広報及び集客について不十分な点があった。しかし、休憩中にプロによる楽器体験コーナーを設けるなど、来場者の満足度が高い公演を目指した。また、日中は市内の小学校へアウトリーチを開催するなど能楽の普及活動を行った。

③伝国の杜こども狂言クラブ

稽 古：平成28年4月から29年3月まで15回開催

発 表：平成28年5月から29年3月まで8回出演（館内6回、外2回）5月、6月、7月、9月、11月、2月、3月

参加者数：18名

通年での稽古、発表を行ったほか、庄内地方の狂言師との交流発表を行った。さらに平成29年1月から幼児コースを開催し、4歳から6歳までの未就学児たちに狂言「くさびら」のキノコ役の稽古をつけ、3月の発表会に出演した。より低い年齢から、子どもたちに狂言の面白さを紹介した。

### (3) 米沢市市民文化会館米沢市共催事業

芸術、文化、レクリエーションに触れる機会を提供し、その普及振興を図り、米沢市を中心とする地域住民の文化的水準の向上に資する公演を開催した。

#### ①米沢市市民文化会館にぎわいづくり支援事業 DRUM TAO 舞響～Bukyo～踊る○太鼓

公演日時：平成28年 7月27日（水） 19：00開演

入場者数：966名

人気和太鼓集団 DRUM TAO によるパフォーマンスに、米沢市内だけでなく県内外からも鑑賞者が来場し、当日は満席に近い状態となった。また来場者が周辺の施設を利用し、米沢市中心街のにぎわいづくりに役立つことができた。

#### ②劇団 ONEOR 8 山形公演「さようならば、いざ」

公演日時：平成28年11月26日（土） 14：00開演

入場者数：371名

人気劇団 ONEOR 8 が、メインキャストに若手俳優・中村蒼を迎えた新作公演に、庄内地方や県外からの来場者を含め演劇ファンが集まった。演劇上演の少ない施設ではあるが来場者からは好評を得ることができた。

### (4) 米沢市民ギャラリー自主事業

月に1回の図書館休館日（第4木曜日）を利用し、ギャラリー展示室内での「ウッディコンサート」を開催した。木管楽器を中心に、ピアノ、弦楽器、歌唱、合唱などによる演奏会とし、米沢市内外で活動するプロ・アマチュアによるさまざまなジャンルの楽曲を聴くことができた。季節に合わせた選曲も多く幅広い年代の来場者が楽しむことができ、中心市街地の活性化の一助ともなった。

#### ①「天使の歌声 オーボエ&ピアノ・コンサート」

開催日：平成28年 7月28日（木）第1回 15：00～、第2回 18：00～  
来場者数：合計160名

#### ②「天使の歌声Ⅱ フルート&ピアノ・コンサート」

開催日：平成28年 9月23日（金）第1回 16：00～、第2回 19：00～  
来場者数：合計180名

#### ③「木管五重奏」

開催日：平成28年10月27日（木） 19：00開演  
来場者数：91名

④「クリスマスの歌声」

開催日：平成28年12月22日（木） 15：00開演

来場者数：130名

⑤「クラリネット四重奏」

開催日：平成29年 3月23日（木） 19：00開演

来場者数：73名

(5) 米沢市座の文化伝承館自主事業

座ってたのしむ小さなステージ vol. 10 「二胡を楽しむ」

開催日：平成28年 9月18日（日）

第1回 13：00～、第2回 15：00～

来場者数：合計63名

蔵の特性を活用した無料公演として、山形市、福島市など広く活動している二胡の愛好団体「ジャスミン」によるコンサートを開催した。独特の音色を持つ二胡の雰囲気を楽しめ、また、出演者による解説やお客さまと歌いながら楽しめる内容が、蔵の雰囲気に似合うものになった。

## 5 芸術文化活動のための施設貸与事業

### ①米沢市座の文化伝承館

貸出業務は、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。施設の利用の促進が地域文化の底上げにつながることから、施設情報のPRに努めた。

平成28年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数： 336 件

利用者数： 4,530 名

### ②よねざわ市民ギャラリー

市民の多芸な芸術文化活動の鑑賞・発表の場として、適正に貸与した。さまざまな分野の作品に合わせ展示ができる施設の機能を活かし、絵画作品や書道、写真等の平面作品、また彫刻や生け花といった立体作品等の発表にも多く活用された。

平成28年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数： 350 件

利用者数： 54,625 名

## 6 サポーター運営事業

### ①伝国の杜サポーター運営事業

従来からのインフォメーション、広報、レセプション、教育普及、洛中洛外図屏風解説の分野においては定期的な活動を行うことができた。新規分野として図書整理の活動を導入し、地域の方の協働の場を新たに設けることができたので、定期的な活動につなげたい。また、通信の発行や要綱の制定など、活動環境の整備に取り組んだ。

特殊技能部門のとんと昔の会は年間3回の自由参加制ワークショップ「むかしむかしをきこう」での語り、また、ミュージアムアシスタントティーチャーズ（置賜地域の教員サポーター）は博物館の授業利用の促進の面で尽力いただいた。

登録数：27名

研修会：11月13日（日） 福島県立美術館「広重ビビッド」鑑賞

福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」ボランティア交流  
参加者数 7名

### ②図書館サポーター運営事業

開館記念事業では丸山ちはや氏からご講演いただいた。また図書館職員が講師となって修理などの研修会を行い、書架整理、返本作業、修理など実際の活動に役立てた。子ども向けの読み聞かせの活動では「おはなしかい」や「ブックスタート」などへの参加があった。また、郷土資料「越境記」のデータベース公開に向け、平成29年2月よりサポーターによる翻刻の校正作業を開始した。

登録数：63名

## Ⅱ 収益等事業1

### ミュージアムショップ事業

- ・来館者にとって魅力あるショップを目指し、日常の業務を適正に行った。
- ・展覧会会期中の販売品目の選定、陳列など、時宜に応じた運営を行った。
- ・市立米沢図書館と連携し、博物館の展覧会図録や図書館の郷土資料刊行物等出版物を相互に販売した。
- ・より広範囲への商品販売と施設の告知を狙いインターネットでの販売を継続した。
- ・来館者のニーズに対するマーケティングリサーチを行い、地元企業などとの連携を図りながら新規商品の開発について検討した。
- ・オリジナル商品に関する開発等の実績

新規商品	4 商品
再販商品	13 商品

## Ⅲ 収益等事業2

### 施設貸与事業

#### ①米沢市上杉博物館会議室

米沢市から指定管理事業として受託する米沢市上杉博物館会議室の貸出業務について、貸出基準に照らし適正に貸与した。また、利用者のニーズを把握し、利用促進に努めた。

平成28年度の利用者数は以下のとおりであった。

利用件数：	361 件
利用者数：	8,518 人

#### ②米沢市まちなか駐車場

指定管理初年度であった米沢市まちなか駐車場の貸出業務について、貸出基準に照らし適正かつ円滑な管理運営に努めた。

平成28年度の利用台数は以下のとおり。

利用台数：	108,225 台
-------	-----------



## IV 収益等事業3 伝国の杜ファンクラブ事業

平成28年度の入会者数は以下のとおりであった。また、会員数の増加のために継続的な告知活動を行った。

会員数：329名

内 訳：一般 286名、学生 26名、ジュニア 17名

会員に対しては下記の事業を行った。

- ・会報及び財団自主事業情報の送付
- ・米沢市上杉博物館常設展示室・企画展示室への入館特典の付与
- ・置賜文化ホール主催事業の先行予約・割引販売（一部公演除く）
- ・ミュージアムショップにて展覧会図録・オリジナル商品の10%割引販売
- ・ファンクラブ会員限定事業の開催

①「山形交響楽団ユアタウンコンサートロビー交流会」

日 時：平成28年 4月23日（土）

※オープン開催

②「福島県立美術館 広重ビビッド 鑑賞会」

日 時：平成28年11月13日（日）

参加者数：21名

※伝国の杜サポーター研修と連携して開催

## V 管理部門

平成28年度から平成32年度までの5年間、米沢市座の文化伝承館の指定管理者として指定を受けた。また、市立米沢図書館等の指定管理運営を開始した。

公益財団法人米沢上杉文化振興財団管理運営に関する会議について、理事会を3回（通常理事会2回、臨時理事会1回）、評議員会を1回（定時）、理事・評議員合同役員会を1回行った。

また、米沢市上杉博物館と置賜文化ホール自主事業、市立米沢図書館とよねざわ市民ギャラリーについて、その事業等の質、来館者の利便性、利用率の向上等を達成するために、第三者から幅広い意見をを得る場である運営協議会を年2回ずつ開催し、委員からは管理・事業運営全般にわたり様々な意見が出された。

### 【理事会】

①公益財団法人米沢上杉文化振興財団 通常理事会

開催日時：平成28年 5月20日（金） 13：30～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

報告第1号 平成28年3月24日理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 平成27年度事業報告及び附属明細書の承認について

第2号議案 平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び

附属明細書並びに財産目録の承認について

第3号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について

第4号議案 定時評議員会に提出する評議員の選任に関する事項について

第5号議案 定時評議員会に提出する理事及び監事の選任に関する事項について

②公益財団法人米沢上杉文化振興財団 臨時理事会

開催日時：平成28年 6月11日（土） 定時評議員会終了後

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

第1号議案 理事長、副理事長及び常務理事の選定について

第2号議案 顧問の選任について

その他

③公益財団法人米沢上杉文化振興財団 通常理事会

開催日時：平成29年 3月24日（金） 15：00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

報告第1号 平成28年5月20日理事会以降の職務執行状況について

第1号議案 平成29年度事業計画書（案）の承認について

第2号議案 平成29年度収支予算書（案）の承認について

第3号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団育児・介護休業規程の一部を改正する規程について

第4号議案 公益財団法人米沢上杉文化振興財団臨時職員育児・介護休業規程の一部を改正する規程について

【定時評議員会】

公益財団法人米沢上杉文化振興財団 定時評議委員会

開催日時：平成28年 6月11日（土） 15：00～

開催場所：伝国の杜第2大会議室

議事

報告第1号 平成27年度事業報告並びに附属明細書について

第1号議案 平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）  
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

第2号議案 評議員の選任について

第3号議案 理事及び監事の選任について

その他

【理事・評議員合同役員会】

公益財団法人米沢上杉文化振興財団 理事・評議員合同役員会

開催日時：平成28年 6月11日（土） 臨時理事会終了後

開催場所：伝国の杜第2小会議室

## 【伝国の杜運営協議会】

### ①第1回伝国の杜運営協議会

開催日時：平成28年 7月26日（火）14：00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 伝国の杜の運営状況について（報告）
- ii) 博物館や文化ホールで観たいテーマや公演について
- iii) 伝国の杜とナセBAの連携について
- iv) その他

### ②第2回伝国の杜運営協議会

開催日時：平成28年12月15日（木）10：00～

開催場所：伝国の杜第2小会議室

議事

- i) 第1回伝国の杜運営協議会の意見要望に対する取り組みについて
- ii) 平成28年度事業評価について
- iii) 平成29年度米沢市上杉博物館・置賜文化ホールの開催予定事業について
- iv) その他

## 【ナセBA運営協議会】

### ①第1回ナセBA運営協議会

開催日時：平成28年 8月25日（火）15：00～

開催場所：ナセBA郷土資料閲覧室

議事

- i) 平成28年度 ナセBAの事業について
- ii) ナセBAに望むこと
- iii) ナセBAと伝国の杜の連携について
- iv) その他

### ②第2回ナセBA運営協議会

開催日時：平成29年 1月26日（木）15：00～

開催場所：ナセBA体験学習室

議事

- i) 第1回ナセBA運営協議会の意見要望に対する取り組みについて
- ii) 平成28年度 公益財団法人米沢上杉文化振興財団運営自己評価について
- iii) 平成29年度 市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーの開催予定事業について
- iv) その他